

# 膝蓋骨脱臼(パテラ)とは

膝蓋骨というのはいわゆる膝のお皿です。  
大腿骨にある滑車溝に沿ってお皿が動くことで正常に膝を動かすことができます。  
特に小型犬で先天的に滑車溝が浅い子が多く、お皿が外れやすくなっている子があります。

脱臼の程度により4つのグレードに分類されます。

## □ グレード1

普段は滑車溝に収まっていて、日常生活に支障はないが時々スキップしたり、キャンと鳴くことがあります。

## □ グレード2

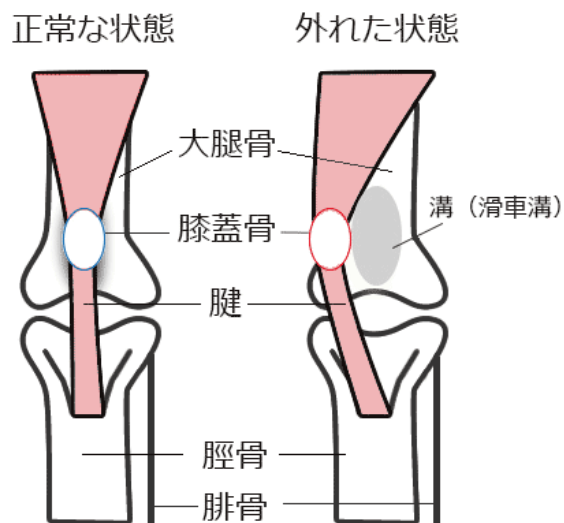
後ろ足を曲げた時に脱臼が頻発。脱臼中は足を挙上しています。後ろ足を曲げ伸ばししたり手で膝蓋骨を押して戻すことができます。

## □ グレード3

膝蓋骨は常に脱臼している状態で、手で押して一時的に戻すことができます。  
常に脱臼しているので歩様に異常が見られます。

## □ グレード4

膝蓋骨は常に脱臼している状態で、戻すことができません。  
後ろ足を曲げたままらずくまるように歩きます。



## 《治療》

### ◆ 内科治療

鎮痛消炎剤の飲み薬で治療します。グレードにもよりますが、頓服で痛むときだけ服用する場合があります。

また、魚油などを主成分とした $\omega$ -3脂肪酸のサプリメントは鎮痛消炎効果が期待できます。

### ◆ 外科手術

軟骨を切削して、滑車溝を深くする手術です。

術直後は安静にてもらいますが、その後は衰えた筋肉を取り戻すためにリハビリが必要になります。

### ◆ ダイエット

内科治療でも外科手術でも、減量は最も大切です。

過体重だと常に膝に負担がかかるため、どんなに治療をしても症状が悪化するリスクがあります。  
膝を労るためにも運動での減量ではなく、食事療法で減量を目指しましょう！

### ◆ 住環境のコーディネート

ソファやベッドにジャンプして登り降りしたり、滑りやすい床を走ったりすると膝に負担がかかったり、衝撃で靭帯を痛めてしまうことがあります。

スロープをつけたり、絨毯を敷く、ペット用の床ワックスを使うなど、やさしい住環境を整えましょう。